



## WATCHES & WONDERS にて

### ジャガー・ルクルトがステラー・オデッセイを開始

**CEO** カトリーヌ・レニエとノーベル賞受賞者のディディエ・ケローが、天文学の素晴らしさと計時との関連性を語ります

**2022年4月1日**ジュネーブ - 本日、Watches & Wonders において、ジャガー・ルクルトは、CEO カトリーヌ・レニエとノーベル賞を受賞した天文学者ディディエ・ケローによる基調講演の中で、**2022年**の新しいテーマ「ステラー・オデッセイ」を紹介しました。ジャガー・ルクルトのパートナーであり、ステラー・オデッセイの科学顧問でもあるディディエ・ケローは、天体现象と計時に関するテーマに並外れた信頼性をもたらしています。

ステラー・オデッセイは、天文現象と、時間計測と時計製造の歴史との基本的なつながりを強調し、天文現象を複雑な時計に変換するジャガー・ルクルトのユニークで幅広い専門知識を称えるものです。**2022年**、ジャガー・ルクルトは「The Stellar Odyssey Around the World」を開催し、世界的に有名なミクソロジスト（バーテンダー）、マティアス・ジルーやビジュアル・アーティストとのインスピレーションあふれるコラボレーションや、天体をテーマにした最新のタイムピースの発表などのテーマ別イベントを開催します。ジャガー・ルクルトのアトリエ・ド・アントワープでは、時計製造の知識をより多くの人々に伝えるという取り組みの一環として、年間を通じて、天体をテーマにした体験型のディスカバリーワークショップを開催します。

「今年、ステラー・オデッセイは、世界中を巡ってマニファクチュールの旅を続け、天体のテーマからインスピレーションを得た作品を紹介するだけでなく、天体世界の驚異をアートインスタレーションや体験型展示で表現します。」

ジャガー・ルクルト CEO カトリーヌ・レニエ

天文学の革新的な研究で、**2019年**にノーベル物理学賞を受賞したディディエ・ケローは、ケンブリッジ大学（英国）の自然哲学教授とチューリッヒ工科大学（スイス）の物理学教授を務めています。天体物理学における「系外惑星革命」を導いた一人であり、**1995年**に博士課程の指導教官と共に、太陽系外の他の星を周回する巨大惑星の最初の発見を発表しました。これは天文学に革命を起こし、系外惑星研究の分野をスタートさせる画期的な発見となりました。天文機器や新しい観測手法、検出アルゴリズムを開発し、これまで知られていなかった何百もの惑星を発見してきました。



2022 年のジャガー・ルクルトのステラー・オデッセイでは、時計愛好家のみならず、広く一般の方々にも、宇宙の神秘が、腕から覗くマイクロメカニカルの驚くべき技術の世界へといかに昇華されたかご覧いただけます。

---

### STELLAR ODYSSEY について

2022 年、ジャガー・ルクルトは、人類が時間を計測する方法のまさに原点となった天文現象にオマージュを捧げます。シンプルな形状のムーンフェイズ表示から、極めて複雑な永久カレンダー、均時差、星図、交点月周期、近点月周期に至るまで、天文学的な機能は、マニファクチュール創設時から、ジャガー・ルクルトが誇る複雑時計のポートフォリオにおいて重要な役割を担ってきました。太陽、月、恒星を用いた 3 種類の時間単位をすべて習得したジャガー・ルクルトの時計職人たちは、絶えず革新を続け、天文現象を表示するだけでなく、予測まで行う極めて高度で正確な機構を製作しています。今年、ジャガー・ルクルトは、体験型展示会や一連のテーマ別イベントを開催するステラー・オデッセイを開始します。ビジュアルアーティストやミクソロジスト（バーテンダー）とのインスピレーションに溢れたコラボレーションや、Atelier d'Antoine（アトリエ・ド・アントワヌ）における、天空がテーマの「ディスカバリーワークショップ」といった魅力溢れるプログラムも開催されます。ステラー・オデッセイでは、宇宙の神秘が、腕から覗くマイクロメカニカルの驚くべき技術の世界へといかに昇華されたかご覧いただけます。

---

### ジャガー・ルクルト : HOME OF FINE WATCHMAKING SINCE 1833

ジャガー・ルクルトは、メゾンの本拠地をジュウ渓谷の静寂な地に置いていることが、ホームとして、その場所への独特の帰属意識を高めています。まさにこの地こそ、ジュラ山脈の比類なき景色に着想を得ながら、果てることのない「内なる炎」に導かれ、ジャガー・ルクルトの精神が生まれる場所なのです。すべての作業がひとつ屋根の下で行われているこのマニファクチュールでは、時計職人、エンジニア、デザイナー、芸術職人が一丸となって働き、時計に息吹を吹き込みます。揺るぎないエネルギーと、メゾンに属する一人ひとりのコミットメントを日々促している創造の精神が原動力となり、控えめな洗練さと技術的な創造性を培っています。この精神が、1833 年以来、1,200 以上のキャリバーを生み出すパワーの源であり続け、そして、ジャガー・ルクルトをウォッチメーカーの中のウォッチメーカーへと導いているのです。

---

[jaeger-lecoultre.com](http://jaeger-lecoultre.com)